

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス青葉学院中山教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 11日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年 1月 11日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 12日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 個別に学習プリントを用意し、充実した内容で学習を提供している。 児童一人一人の課題を理解し、それに合わせて教材作りをしている。 ここに合わせたプリント内容を提供し、毎回PDCAを意識した準備を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左。学習内容の引き継ぎも行なっている。 多くの「できる」「ほめられる」の経験が出来るよう教材を準備し、その上で挑戦もして「出来るようになる」を体現してもらえようようにしている。 職員間での情報共有に加え、必要に応じ学校・保護者とも状況の確認を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の取り組みの継続を徹底していく。 オリジナル教材の拡充。 利用者が「何をするか」という意思決定の場面をもっと増やしたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> 少人数のため、意思決定や実施がスピーディーにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝のミーティングを必ず行なっている。 共有事項のチェックファイルを作りチェックをしている。 	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 土曜の午後活動が単調になりがち。 イベント時などの送迎時にご家庭にもご協力をいただく場面がある(送迎車・ドライバーの不足)。 学習に対して「楽しみ」と感じる児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎が各方面にあるため、距離制限を設けてはいるがドライバーや送迎車が不足することがある。 利用児童のニーズや相互のすり合わせ・約束が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ドライバー業務が可能な人員の確保。 利用児童へのニーズの聞き取りが十分でない。本人が納得した上での目標、支援計画の設定。
2	<ul style="list-style-type: none"> 指導員の不足。 曜日ごとに出勤スタッフが異なるため、情報共有に漏れがあることがある。 		<ul style="list-style-type: none"> 漏れがちな当日発生した事項(送迎の有無など)を書き出すためのホワイトボード等を用意する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 業務について各々の理解が十分でなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務開始時に書面(マニュアル)での確認が十分でなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 途中で勤務を始める職員は書面と口頭で業務について説明を受ける。新年度にあらためて業務の分担などを確認する。